

2023年度

一般財団法人 リモート・センシング技術センター
環境報告書

2024年9月

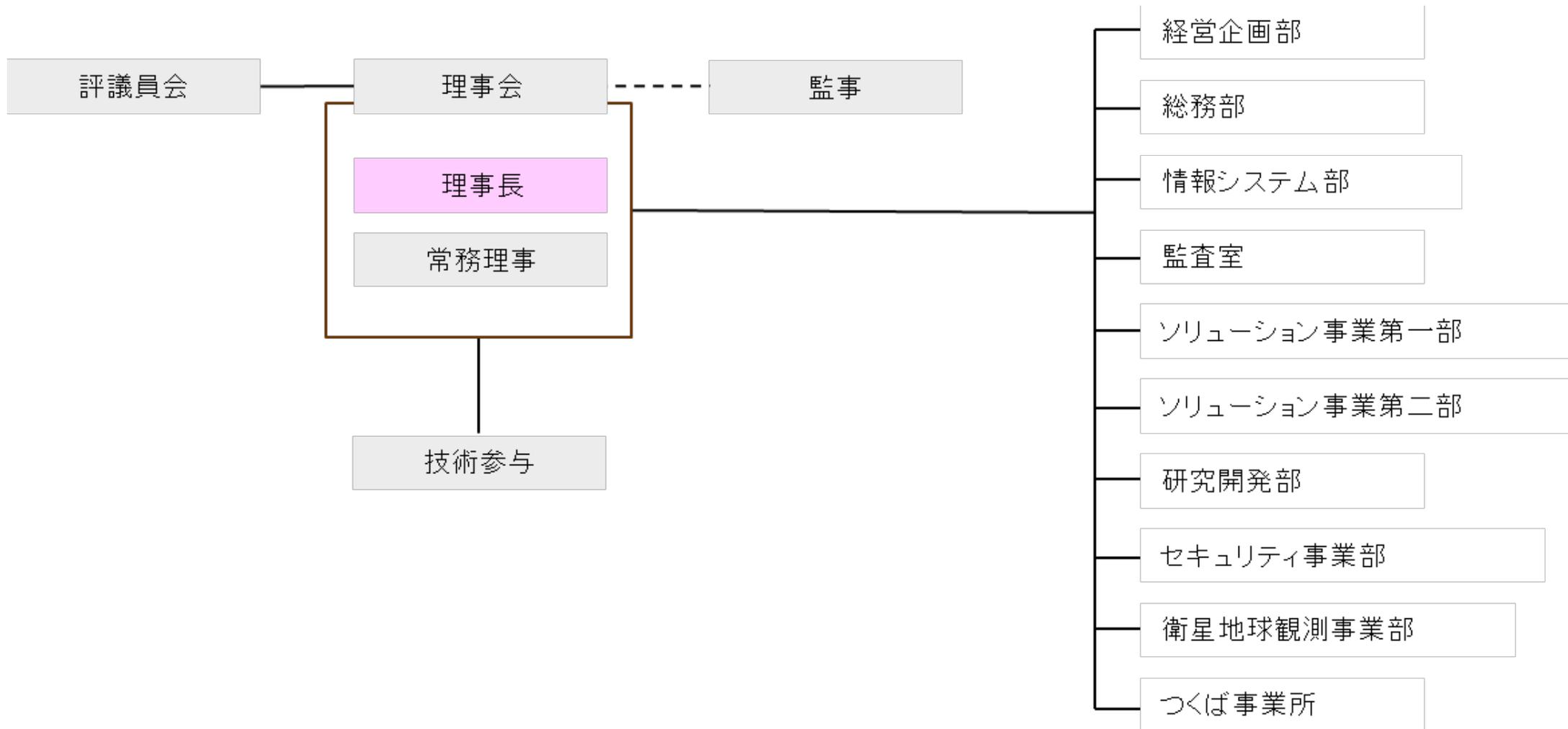
一般財団法人リモート・センシング技術センター

1. 財団概要



財団名	一般財団法人リモート・センシング技術センター
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階
つくば事業所	(事務所) 〒305-0047 茨城県つくば市千現2丁目1-6 つくば研究支援センター内 (作業所) 〒305-0032 茨城県つくば市千現2丁目1-1 宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター内
衛星地球観測事業部	〒350-0393 埼玉県比企郡鳩山町大字大橋字沼ノ上1401 地球観測センター内
設立	1975年8月1日
基本財産	250,000千円
理事長	池田 要
職員数	175名
各種許認可	品質マネジメントシステム (ISO 9001) 認証取得 情報セキュリティマネジメントシステム (ISO/IEC 27001) 認証取得 環境マネジメントシステム (ISO 14001) 認証取得 衛星リモートセンシング記録を取り扱う者の認定 測量業者登録 「えるぼし」3段階目認定取得
事業概要	https://www.restec.or.jp/

1. 財団概要



2. 環境方針



一般財団法人リモート・センシング技術センターは、リモートセンシングに関する広範かつ基礎から応用につながる技術開発に取り組み、その利用の拡大と社会実装を通じて、社会経済の発展並びに人々の生活の向上に貢献することを目指し、以下の品質方針を定め、これを実現します。

- 1) 事業活動、製品及びサービスにおいて環境負荷を最小限にするために、省資源、省エネルギー、廃棄物削減、環境リスク対策などを推進します。
- 2) 環境目標を設定し、その達成に努力するとともに、定期的な見直しを行うことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
- 3) 環境関連の法規制等を遵守します。
- 4) 職員に環境教育を継続的に実施するとともに、事業活動を通じて、これに係わる人々に普及啓発を図り、環境保全に対する意識の向上を図ります。

3. 環境マネジメントシステム



環境方針の決定をうけ、財団では平成24年度にISO1400:2004に従った環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、平成25年1月31日付でその認証を取得しました。

その後の更新審査においても、当財団EMSが規格要求に適合し、効果的に機能しているとの評価を得ています。

当財団のISO14001認証内容は、以下の通りです。

登録番号	:	JUSE-EG-550
組織名	:	一般財団法人リモート・センシング技術センター
適用規格	:	JIS Q 14001:2015 (ISO 14001:2015)
初回登録日	:	2013年1月31日
有効期間	:	2022年1月31日~2025年1月30日
審査登録機関	:	一般財団法人 日本科学技術連盟
登録範囲	:	リモートセンシングに関する研究開発、人材養成、運用及びサービスの提供

3. 環境マネジメントシステム

Union of Japanese Scientists and Engineers

登録証

一般財団法人 日本科学技術連盟 ISO審査登録センター

登録種別: 環境マネジメントシステム
 適用規格: JIS Q 14001:2015(ISO 14001:2015)
 登録番号: JU5E-EG-550
 登録組織: 一般財団法人リモート・センシング技術センター
 トップマネジメント: 常務理事 松澤 直人
 所在地: 東京都港区虎ノ門3-17-1
 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階、3階(本社)
 その他「審査登録適合内容(詳細)」による
 登録範囲: リモートセンシングに関する研究開発、人材養成、運用及びサービス等の提供

判定の結果、上記規格要求事項に適合していることを証し、登録いたします。

有効期間: 2022年1月31日～2025年1月30日
 初回登録日: 2013年1月31日
 改訂日: 2022年12月20日

理事長 佐々木 真一

 ISO審査登録センター 担当理事・上級経営管理者 小野寺 将人

 一般財団法人 日本科学技術連盟 住所: 東京都新宿区西新宿2-7-1(〒163-0704)

JU5E-EG-550 2022年12月20日

環境マネジメントシステム
 審査登録適合内容(詳細)

登録編成	一般財団法人リモート・センシング技術センター
登録範囲	リモートセンシングに関する研究開発、人材養成、運用及びサービス等の提供

No.	名称	所在地	サイトの登録範囲
1	本社	東京都港区虎ノ門3-17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階、3階	リモートセンシングに関する研究開発、人材養成、運用及びサービス等の提供
2	つくば事業所(事務所)	茨城県つくば市千原2-1-6 つくば研究支援センター内(A-11)	事務管理
3	つくば事業所(作業所)	茨城県つくば市千原2-1-1 筑波宇宙センター内小型衛星試験棟作業室	リモートセンシングに関する研究開発、人材養成、運用及びサービス等の提供
4	岡山事業所	埼玉県比企郡鳩山町大字大樽沼ノ上1401 宇宙航空研究開発機構地球観測センター	リモートセンシングに関する研究開発、人材養成、運用及びサービス等の提供

本証は「登録証」の付録書であり、併用して利用することで有効となる。 1/1

3. 環境マネジメントシステム

【著しい環境側面】

企業活動を行うにあたり環境に影響を及ぼす可能性や重大性を評価し影響度が一定レベル以上のものを環境側面と呼び、特に影響度の高いものを著しい環境側面として以下の項目を定めています。

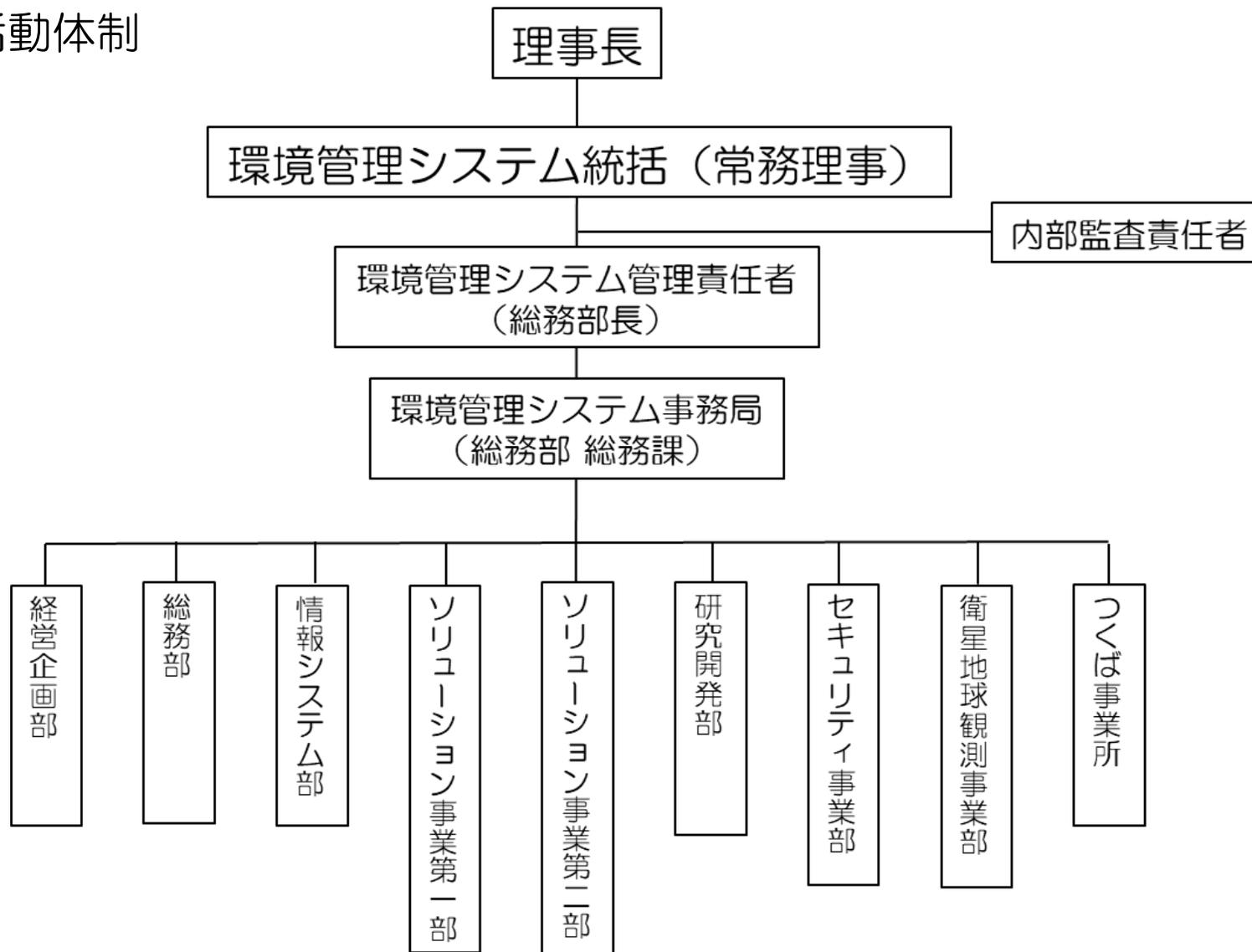
- ✓ 電力の削減
- ✓ コピー用紙の削減
- ✓ グリーン法に基づく文具類の調達
- ✓ 産業廃棄物の適切な処置

一方、一般的に企業活動は環境に悪影響を与えるもの（マイナス側面）が多くみられますが、財団ではその特徴として次のような衛星データを活用した環境への貢献活動（プラス側面）があります。

- ✓ 地球観測データを利用した環境保全支援活動
- ✓ 災害発生時のデータ提供支援
- ✓ 開発途上国等の技術者へのリモートセンシング技術の研修

3. 環境マネジメントシステム

活動体制



3. 環境マネジメントシステム

【環境パフォーマンス改善への取り組み】

2023年度の環境目標及び結果を以下に示します。

環境目標	実績	結果
業務を通じた環境負荷低減への貢献	次頁参照	良好
本社年間電力量の削減	297,033kwh	良好
コピー用紙使用量の削減	447,105枚	良好
産業廃棄物の管理の徹底 (産業廃棄物管理票による適正管理)	0.06t 程度	良好
空調機（フロン）の保守管理	年4回実施	良好

3. 環境マネジメントシステム

【環境パフォーマンス改善への取り組み】

環境に貢献したと思われる主な業務を以下に示します。

分野	貢献内容
地球環境把握	◆ JAXA委託業務を通じて様々な環境系衛星等のデータ解析・処理による環境監視等（温室効果ガス, 土地被覆, 海面水温, 海水等）を実施
持続可能な開発目標（SDGs）	◆ JICA事業への支援として、衛星情報を活用した途上国の課題解決に向けた支援に貢献 ◆ リモートセンシング技術によるSDGs貢献活動をHPに掲載 ◆ 社会規模課題に対するリモートセンシングの新たな利用方法の発掘
森林保全	◆ イオン環境財団が行う持続可能な地域づくりへのリモートセンシング技術活用に関する連携協定に基づく効果的な植樹等の森管理活動へ貢献
人材育成	◆ JICA事業への支援として衛星技術を活用した熱帯林管理に関する解析技術研修を実施 ◆ ベトナム国における小型衛星を用いた災害・気候変動対策事業のための人材育成の実施

3. 環境マネジメントシステム

【環境パフォーマンス改善への取り組み】

環境目標を達成するために、日ごろから取り組んでいる改善活動を以下に示します。

◆ 節電

- 室内空調について、職員の快適な作業環境を保ちつつ、こまめに室温管理を行う。

（推奨室温設定：暖房時 22度±1度、冷房時 27度±1度）

- クールビズ、ウォームビズの推進

◆ コピー用紙削減

- リモートワーク及び事務用ノートPCの支給

- web会議利用による、会議資料の電子化

- イベントのZOOM開催による資料の電子化（RESTECフォーラム2023 等）

◆ 資源の有効活用

- ゴミの分別廃棄

- 産業廃棄物管理票による適正管理、産業廃棄物管理票交付等状況報告書を東京都知事に提出

（電子マニフェスト）

◆ グリーン購入の推進



RESTEC

Sense Your Earth

